

# 令和7年度 第8回 豊田市稻武地域会議全体会 会議録

■日 時 令和7年11月20日(木) 午後7時00分～8時05分

■場 所 稲武支所 団体会議室

■出席者 委員：安藤直人、石橋佳子、今泉喜規、佐々木祐次、高崎太一郎、  
土本隆雄、土山富衣、西尾昌直、深見友和、三江元博

(欠席者)：海野浩、塚田孝弘、中拓二、宮島明菜

市議会議員：松原議員

事務局：渡辺支所長、岡部副支所長、柄澤副主幹、原田主査

## ■次第

1 開会

2 会長あいさつ

3 松原市議あいさつ

4 協議事項

(1) 「子どもの見守り・居場所」における検討の方向性について

(2) 「子どもの見守り・居場所」の具体的イメージ

5 その他

## ■議事（要約）

4 協議事項

(1) 「子どもの見守り・居場所」における検討の方向性について

事務局より、協議のポイントについて確認。そのポイントを踏まえた検討の方向性について説明し、方向性として違和感や不足する点が無いか委員に確認を行った。

(2) 「子どもの見守り・居場所」の具体的イメージ

人材確保の方法や稻武独自の見守りのアイデアについて、グループワークで検討。各グループの検討で出された意見は次のとおり。

«グループ1»

- ・地域独自の要素として、稻武太鼓が1つのキーワード。子どもには稻武太鼓の練習ができる居場所、大人には地域の伝統芸能を教えることができる場所、小学生から中学生、大人が年代問わず集まる居場所にする。
- ・地域の高齢者や特技を持った方に協力してもらい、編み物や料理、伝統芸能など、様々なプログラムを子ども達が学べる居場所にする。小学生と中学生で同じ目標に向かって学べるプログラムがあると良い。
- ・居場所への送迎は課題である。
- ・人材の確保では、報酬が無いと続かない。

«グループ2»

- ・大学と連携して教員志望の大学生を人材として活用できないか。
- ・人材確保に交通費や報酬は必要。ボランティアでは難しい。
- ・長期休暇は見守り時間が長いため、時間を区切って勉強や遊びの責任者をそれぞれ置いてはどうか。
- ・既存の居場所では、子どもの注意が難しいと感じているため、事前に見守り内容や注意事項を保護者に伝え、納得してもらったうえで利用してもらう。
- ・居場所として小学校の体育館、特別教室が使えないか。夏は暑いので遊び場として体育館が使えると良い。